

学校番号				
3	3	0	1	2

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 20 日

札幌市立 栄町中学校

1 今年度の重点目標

生徒理解に立った生徒指導の充実/「学ぶ力」「健やかな体」の育成/「豊かな心」の育成・一人一人を大切にされた教育 /「信頼される学校」の推進

2 今年度の経営方針

教職員は子どもと子どもをつなげるコーディネーター/日本一子どもの笑顔があふれる学校を目指す

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	積極的な行動	困難に耐え、活力にあふれた行動ができる生徒	A	旅行的行事、学校祭や合唱コンクールなどの行事に学年・学級・全校で粘り強く、協力しながら取り組むことで、生徒たち同士つながりや絆の形成へとつなげることができた。特に今年度は40周年記念行事を全校で準備することを通じ、これまでの歴史を振り返り、歴史を大切にしながら、積極的に新たな歴史を紡いでいこうとする心が育ったと感じている。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・40周年行事への取組は、保護者も地域も参加することができ、生徒たちの成長を目の当たりにできる機会となっていたいへんよかった。次年度は周年行事はないが、今年と同じようなモチベーションで生徒たちが成長できるような工夫をしていただけるとよい。				

■■■ Iーさ C小つ T中ぼ をーろ 活貴つ 用し子 った一 った教 学教 育び 育ーの のの推 進ス 進進ス (ー校の 報種活 教間用 育連携)	学ぶ力の育成	高い知性	真理を求め、創造的な思考力をもつ生徒	A	今年度は、学校として「学ぶ力の育成プログラム」作成に力を入れるために教師の研修をブラッシュアップするなどの工夫を行った。結果としてあらわれてくるのはこれからだと思うが、次年度も継続していく。	A	A
	豊かな心の育成	豊かな情操	豊かな心をもち、人や自然を大切にできる生徒	B	自他の生命を尊重し、多様性を認め合う心が育まれていると感じる場面も多かった反面、SNSで他の心を考えない行動を取ってしまう事例も複数あり、今後さらなる教育活動の充実が必要だと考えている。	A	A
	健やかな体の育成	たくましいからだ	明るく健康で、たくましいからだをもつ生徒	A	「健やかな体」育成プログラムの検証・改善を次年度も継続する。委員会中心に休み時間を活用した体育的活動の充実を行った。また、学年で行うスポーツレク、雪中レクで楽しそうに体を動かす姿があった。	A	A
	札幌らしい特色ある学校教育	学びの基本となる「読書」	朝読書の継続的な実施と図書館運営の充実	A	学校図書館の蔵書を活かし、学校司書と連携し、引き続き国語科の授業を中心に教科指導の充実を図る。	A	A
	子どもの発達への支援	不登校支援	組織的・計画的な不登校支援	A	相談支援パートナー、学びのサポーターによる相談室での支援、関係機関との連携を図り速やかに対応を行うことができた。ただ、年々難しいケースが増えているのも事実。学習への支援は次年度も継続する。	A	A
	信頼される学校の創造	情報発信の充実	学校公開や学校ホームページの充実	A	学校だよりについては予定通り定期発行を行うことができた。ホームページについては更新を行うことができたが、教職員の個人端末の使用が難しくなり、今後写真等の掲載の持続可能性を探る必要がある。	A	A
	教科等の枠組みを越えた教育	進路探求学習/防災教育	進路探求学習（キャリア教育）と防災教育の充実	A	地域の力を借り、今年度も2学年で職場体験を行うことができた。「考える防災教育」をテーマとして、防災教育の充実を更に行うことができた。避難訓練はより実際に近い形で行った。また、校内と校区の防災マップづくりに取り組んだ。3月には「冬の防災」をテーマに講演会を行い、学びを深めた。	A	A
	学校関係者評価委員会による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策については、子どもたち一人一人の抱えている問題が異なっており、複雑化もしているように感じるので、学校は対応に苦労していると思う。ただ、学びのサポーター等を行いながら見ていると、先生方が真摯に生徒に向き合っている様子が感じられる。次年度も不登校生徒への対応に力を注いでほしいと思っている。同時に、心の教室に登校している生徒たちが学習に向かえるような工夫があるといいのではないかと考える。 ・スマートフォンの使い方やSNSとの付き合い方は、子どもだけではなく大人も取り組むべき課題。学校から保護者への情報提供や、取組を話し合える場の創出などができるとよい。子どもたちの意識だけでなく、保護者の意識改革も必要だと考えている。 				